

取付説明書

本書は取付け作業前・ご使用前に必ずお読みください。 取付けは必ず専門業者に依頼してください。 お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

ᆇ			GT2スーパーチャージャーシステム		
商	品	名	GIZスーハーナヤーシャーシステム		
用		途	自動車専用部品		
⊐	— h	۶ No.	12001-AT011		
対	<u> </u>	F 式	2005/10~2008/02		
χij	応を	下 八	^式 ※後席エアコンディショナー付車両は加工取付けが必要です		
取付	説明書	書品番	E04215-T57140-00		
メ -	メーカー車種 トヨタ クラウン アスリート (DBA-GRS184)		トヨタ クラウン アスリート (DBA-GRS184)		
エンジン型式 2GR-FSE		型式	2GR-FSE		



キット装着図(E/G側)



キット装着図(車体側)

備考

- ・本製品を使用してのエンジン及び補機類等の破損については一切保証を致しません。
- 〇本キット(12001-AT011)には、HKS GT2スーパーチャージャーシステム コンプリートキット本体 保証(以下 本体保証)が適用されます。
- 〇本製品は専用サブコンピュータにてセッティング済みのため、下記指定部品との組合せで使用してください。
 - ・指定部品以外の部品を使用した場合には、本体保証をお受けになることはできません。
 - ・指定部品以外の部品を使用した場合にはエンジンが破損する場合があります。

٦:	コンプリートキット指 定 部 品				
ECU	純正並びに純正データ				
触媒付き	純正				
エキゾーストマニホールド	NºC II.				
第2触媒付中間パイプ	純正				
マフラー	純正またはHKSリーガマックスPremium				
スパークプラグ	HKS スーパーファイヤーレーシング M40iL/M45iL				
	のいずれかに必ず交換				
エンジンオイル	HKS エンジンオイル シリーズ 高温粘度 40 以上				
スピードリミッターカット装置	HKS VAC T-606(3.5L 専用品)				

〇本製品を下記使用条件下にて使用した場合には、本体保証をお受けになることはできません。

保証対象外となる使用条件		
サーキット走行などの高負荷運転		
専用サブコンピューターのセッティングデータ変更		
FCUデータの変更(エンジン最大回転数の引き上げ、燃料点火セッティングの変更)		

改訂の記録

改訂No.	日 付	記載変更内容
3-3. 01	2018/05	初版

目次

はじ	じめに/本書・製品について/安全上の注意‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	1
パー	-ツリスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	ノーマルパーツの取外し・移動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	インジェクタドライバの移動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
3.	GT2 スーパーチャージャーの取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
4.	サクションパイプの取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	オイルタンク・オイルフィルタの取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	インタークーラーの取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	インタークーラーパイプの取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
8.		
9.	圧力センサの取付けと、リリーフバルブ作動圧配管の取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	E/G制御系部品の取付け······	
	ノーマルパーツの取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	トラクションオイルの注入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
13.	取付後の確認とトラクションオイル量の調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	51
14.	1ヶ月点検の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
15.	維持・管理 ····································	
16.	故障と判断する前に	
17.	ベルトが切れてしまった場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	55

はじめに

この度は、HKS GT2スーパーチャージャーシステムをお買い上げいただきまことにありがとうございます。

本製品を安全にご使用いただき、機能を充分に発揮させるために本書をお読みください。

取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、安全に使用してください。

本書は取付けを行なう前に必ず読み、よく理解した上で作業を行なってください。

本書・製品について

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、お客様や第三者への危険や損害を未然に防止するため、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品は自動車専用部品です。用途外の使用は行なわないでください。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工、誤使用したことにより受けた損害については当社は一切 責任を負いかねます。
- 本製品は日本国内モデルノーマル車両への取付けを基準に開発されています。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



警告 作業者又は使用者が、死亡又は重傷を負う恐れがある場合



注意

作業者又は使用者が、傷害を負う危険が想定される場合(人損) 拡大物損の発生が想定される場合

(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害 (例えば車両の破損及び焼損))

#書音	/ \ 	77XF	¥L ⊟	NO. I
2 オイルクーラーコア 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	連番	品名	数量	備考
3 フィッティング 2				
4 オイルタンク 1 1 1 6 トラウションオイル 1 1 6 ホースクランブ Φ 8 4 4 オースクランブ Φ 10 4 8 ブラケット Φ 70 用 2 2 2 1 10 ホースノンド # 4 8 2 2 1 1 1 ホース A 8 8 以 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
5 トラクションオイル 1	3		2	
6 ホースクランブ 6 8 4 4 7 ホースクランブ 6 10 4 8 ブラケット 6 7 0 用 2 2 9 シリコンホース 6 7 0 L=20 2 10 ホース / 5 0 / 5 48 2 2 11 ホース Assy 6 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4	オイルタンク	1	
 ホースクランプ φ 10 ブラケット φ 70 用 シリコンホース φ 70 L=20 ホースパンド448 ホース Ass φ 10 ホース Φ 8 L=2500 スペラケット No.1 S ブラケット No.2 プーリー アーリーカバー スペーサー(D14 × d6 × t2) スペーサー(D20 × d8 × t3.5) スペーサー(D20 × d8 × t3.5) スペーサー(D20 × d8 × t3.5) スペーサー(D20 × d10 × t10.5) スペーサー(D20 × d10 × t10.5) スペーサー(D20 × d10 × d12) スペーサー(D20 × d10 × d12) スパート バイブNo.2 ガルト バイブNo.2 ガスケット ツリーフパルブ シリコンホース φ 65 L=55 ホースパンド#48 ホースパンド#48 ホースパンド#16 ホースパンド#16 ホースパンド#16 ホースクランブ φ 16 ボースクランブ φ 16 スポンジンート50 × 50 × 3 	5	トラクションオイル	1	
8 ブラケット φ70 用 2 9 シリコンホース φ70 L=20 2 110 ホースパンド#48 2 111 ホース Assy φ10 1 12 ホース φ8 L=2500 1 13 SC ブラケット No.1 1 1 14 SC ブラケット No.2 1 1 15 ブーリー 2 17 スペーサー(D14 x d6 x t2) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	6	ホースクランプ φ 8	4	
9 シリコンホース φ 70 L=20 2 10 ホースパンド#48 2 11 ホース Assy φ 10 1 12 ホース φ 8 L=2500 1 13 SC プラケット No.1 1 1 14 SC プラケット No.2 1 1 15 ブーリー 2 16 プーリーカバー 2 17 スペーサー(D14 x d6 x t2) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7	ホースクランプ φ 10	4	
10 ホースパンド#48 2 2 11 ホース Assy φ 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	8	ブラケット φ70 用	2	
11 ホース Assy φ 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	9	シリコンホース Ø 70 L=20	2	
12 ホース ∮ 8 L=2500 1 13 SC ブラケット No.1 1 14 SC ブラケット No.2 1 15 ブーリー 2 16 ブーリーカバー 2 17 スペーサー(D14×d6×t2) 1 18 スペーサー(D20×d8×t3.5) 2 19 スペーサー(D20×d8×t3.5) 1 20 Tーナット 2 21 スペーサー(D20×d10×t10.5) 1 22 スペーサー(D20×d10×d12) 1 23 ベルト 1 24 パイブNo.1 1 1 25 パイブNo.2 1 1 27 リリーフバルブ 1 1 28 シリコンホース φ80 L=70 1 1 29 シリコンホース φ65 L=55 1 1 30 ホースパンド#48 2 1 31 ホースパンド#40 2 1 33 ホースのよりにも65 1 1 35 ホースのランブの16 2 1 36 ジョイントパイプの16 1 1 37 スポンジシート 50×50×3 1 1	10	ホースバンド#48	2	
13 SC ブラケット No.1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	11	ホース Assy ϕ 10	1	
14 SC ブラケット No.2 1 15 ブーリー 16 ブーリーカパー 2 17 スペーサー(D14×d6×t2) 1 18 スペーサー(D20×d8×t3.5) 2 19 スペーサー(D20×d8×t33.5) 1 20 Tーナット 2 21 スペーサー(D20×d10×t10.5) 1 22 スペーサー(D20×d10×d12) 1 23 ベルト 1 24 パイプNo.1 1 1 25 パイプNo.2 1 1 27 リリーファバルブ 1 1 28 シリコンホース φ80 L=70 1 1 29 シリコンホース φ65 L=55 1 1 30 ホースパンド半48 2 1 31 ホースパンド半40 2 2 33 ホースク22 L=60 1 1 34 ホース φ16 L=65 1 1 35 ホースクランプ φ16 2 1 36 ジョイントパイプ φ16 1 1 37 スポンジシート 50×50×3 1	12	ホース ϕ 8 L=2500	1	
15 プーリーカパー 2 1 1 1 7 スペーサー(D14×d6×t2) 1 1 1 1 スペーサー(D14×d6×t2) 1 1 1 1 1 スペーサー(D20×d8×t3.5) 2 1 1 2 2 1 スペーサー(D20×d8×t33.5) 1 1 2 2 1 スペーサー(D20×d10×t10.5) 1 1 2 2 スペーサー(D20×d10×d12) 1 1 2 3 ベルト 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	13	SC ブラケット No.1	1	
16 プーリーカバー 2 17 スペーサー(D14×d6×t2) 1 18 スペーサー(D20×d8×t3.5) 2 19 スペーサー(D20×d8×t33.5) 1 20 Tーナット 2 21 スペーサー(D20×d10×t10.5) 1 22 スペーサー(D20×d10×d12) 1 23 ベルト 1 24 パイプNo.1 1 1 25 パイプNo.2 1 1 27 リリーフバルブ 1 1 28 シリコンホース φ80 L=70 1 2 29 シリコンホース φ65 L=55 1 3 30 ホースパンド#48 2 3 31 ホースパンド#48 2 2 3 31 ホースパンド#16 2 2 3 33 ホースゆ20 L=60 1 3 34 ホースゆ16 L=65 1 1 3 35 ホースクランプφ16 2 3 36 ジョイントパイプφ16 1 3 37 スポンジシート50×50×3 1	14	SC ブラケット No.2	1	
17 スペーサー(D14×d6×t2) 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	15	プーリー	2	
18 スペーサー(D20×d8×t33.5) 2 19 スペーサー(D20×d8×t33.5) 1 20 T-ナット 2 21 スペーサー(D20×d10×t10.5) 1 22 スペーサー(D20×d10×d12) 1 23 ベルト 1 24 パイプNo.1 1 1 25 パイプNo.2 1 1 27 リリーフバルブ 1 28 シリコンホース φ80 L=70 1 1 29 シリコンホース φ65 L=55 1 1 30 ホースパンド#48 2 2 31 ホースパンド#40 2 2 33 ホースφ22 L=60 1 1 34 ホースφ16 L=65 1 1 35 ホースクランプφ16 2 2 36 ジョイントパイプφ16 1 1 37 スポンジシート50×50×3 1	16	プーリーカバー	2	
19 スペーサー(D20×d8×t33.5) 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	17	スペーサー(D14×d6×t2)	1	
20 T-ナット 2 21 スペーサー(D20×d10×t10.5) 1 22 スペーサー(D20×d10×d12) 1 23 ベルト 1 24 パイプNo.1 1 1 25 パイプNo.2 1 1 26 ガスケット 1 1 27 リリーフバルブ 1 1 28 シリコンホース φ80 L=70 1 1 29 シリコンホース φ65 L=55 1 1 30 ホースパンド#48 2 2 31 ホースパンド#48 2 2 31 ホースパンド#16 2 2 32 ホースの 12 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 ホースの 2 2 1 2 2 3 3 ホースの 2 2 1 2 3 3 ホースの 1 2 2 3 3 ホースの 1 2 2 3 3 3 ホースの 1 2 3 3 3 ホースの 1 2 3 3 3 ホースの 1 2 3 3 3 5 ホースの 1 5 3 5 ホースクランプ φ 1 6 2 3 6 ジョイントパイプ φ 1 6 1 1 3 7 スポンジシート 50×50×3 1 1	18	スペーサー(D20×d8×t3.5)	2	
21 スペーサー(D20×d10×t10.5) 1 1 2 スペーサー(D20×d10×d12) 1 1 2 3 ベルト 1 1 2 4 パイプNo.1 1 1 2 5 パイプNo.2 1 1 2 5 パイプNo.2 1 1 2 5 パイプNo.2 1 1 2 5 ジョンホース φ80 L=70 1 1 2 8 シリコンホース φ80 L=70 1 2 9 シリコンホース φ65 L=55 1 3 3 ホースパンド#48 2 2 3 1 ホースパンド#40 2 2 3 ホースパンド#16 2 3 ホースパンド#16 2 3 ホースク22 L=60 1 3 ホースクランプφ16 2 3 ボースクランプφ16 2 3 5 ボースクランプφ16 2 3 5 ボースクランプφ16 2 2 3 7 スポンジシート 50×50×3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	19	スペーサー(D20×d8×t33.5)	1	
22 スペーサー(D20×d10×d12) 1 1 23 ベルト 1 1 24 パイプNo.1 1 1 25 パイプNo.2 1 1 25 パイプNo.2 1 1 27 リリーフバルブ 1 28 シリコンホース φ80 L=70 1 29 シリコンホース φ65 L=55 1 30 ホースバンド#48 2 2 31 ホースバンド#40 2 2 32 ホースバンド#16 2 2 33 ホース φ22 L=60 1 34 ホース φ16 L=65 1 35 ホースクランプ φ16 2 36 ジョイントパイプ φ16 37 スポンジシート 50×50×3 1 1	20	T-ナット	2	
23 ベルト 1 24 パイプNo.1 1 25 パイプNo.2 1 26 ガスケット 1 27 リリーフバルブ 1 28 シリコンホース φ80 L=70 1 29 シリコンホース φ65 L=55 1 30 ホースバンド#48 2 31 ホースバンド#40 2 32 ホースバンド#16 2 33 ホース φ 22 L=60 1 34 ホース φ 16 L=65 1 35 ホース クランプ φ 16 2 36 ジョイントパイプ φ 16 1 37 スポンジシート 50 × 50 × 3 1	21	スペーサー(D20×d10×t10.5)	1	
24 パイプNo.1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 2 1	22	スペーサー(D20×d10×d12)	1	
25 パイプNo.2 1 26 ガスケット 1 27 リリーフパルブ 1 28 シリコンホース ゆ80 L=70 1 29 シリコンホース ゆ65 L=55 1 30 ホースバンド#48 2 31 ホースバンド#40 2 32 ホースバンド#16 2 33 ホース φ 22 L=60 1 34 ホース φ 16 L=65 1 35 ホースクランプ φ 16 2 36 ジョイントパイプ φ 16 1 37 スポンジシート 50 × 50 × 3 1	23	ベルト	1	
26 ガスケット 1 27 リリーフバルブ 1 28 シリコンホース φ80 L=70 1 29 シリコンホース φ65 L=55 1 30 ホースパンド#48 2 31 ホースパンド#40 2 32 ホースパンド#16 2 33 ホース φ22 L=60 1 34 ホース φ16 L=65 1 35 ホースクランプ φ16 2 36 ジョイントパイプ φ16 1 37 スポンジシート 50×50×3 1	24	パイプNo.1	1	
27 リリーフバルブ 1 28 シリコンホース φ80 L=70 1 29 シリコンホース φ65 L=55 1 30 ホースバンド#48 2 31 ホースバンド#40 2 32 ホースバンド#16 2 33 ホース φ 22 L=60 1 34 ホース φ 16 L=65 1 35 ホース クランプ φ 16 2 36 ジョイントパイプ φ 16 1 37 スポンジシート 50 × 50 × 3 1	25	パイプNo.2	1	
28 シリコンホース φ80 L=70 1 29 シリコンホース φ65 L=55 1 30 ホースバンド#48 2 31 ホースバンド#40 2 32 ホースバンド#16 2 33 ホース φ 22 L=60 1 34 ホース φ 16 L=65 1 35 ホースクランプ φ 16 2 36 ジョイントパイプ φ 16 1 37 スポンジシート 50 × 50 × 3 1	26	ガスケット	1	
29 シリコンホース φ 65 L=55 1 30 ホースバンド#48 2 31 ホースバンド#40 2 32 ホースバンド#16 2 33 ホース φ 22 L=60 1 34 ホース φ 16 L=65 1 35 ホース クランプ φ 16 2 36 ジョイントパイプ φ 16 1 37 スポンジシート 50 × 50 × 3 1	27	リリーフバルブ	1	
30 ホースバンド#48 2 2 31 ホースバンド#40 2 32 ホースバンド#16 2 33 ホース φ 22 L=60 1 34 ホース φ 16 L=65 1 35 ホースクランプ φ 16 2 36 ジョイントパイプ φ 16 1 37 スポンジシート 50×50×3 1	28	シリコンホース Ø80 L=70	1	
31 ホースバンド#40 2 32 ホースバンド#16 2 33 ホース φ 22 L=60 1 34 ホース φ 16 L=65 1 35 ホースクランプ φ 16 2 36 ジョイントパイプ φ 16 1 37 スポンジシート 50×50×3 1 1 37 スポンジシート 50×50×3	29	シリコンホース φ 65 L=55	1	
32 ホースバンド#16 2 33 ホース φ 22 L=60 1 1 34 ホース φ 16 L=65 1 1 35 ホースクランプ φ 16 2 36 ジョイントパイプ φ 16 1 1 37 スポンジシート 50×50×3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30	ホースバンド#48	2	
33 ホース φ 22 L=60 1 1 34 ホース φ 16 L=65 1 1 35 ホースクランプ φ 16 2 36 ジョイントパイプ φ 16 1 1 37 スポンジシート 50 × 50 × 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	31	ホースバンド#40	2	
34 ホース φ 16 L=65 1 35 ホースクランプ φ 16 2 36 ジョイントパイプ φ 16 1 37 スポンジシート 50 × 50 × 3 1	32	ホースバンド#16	2	
35 ホースクランプ φ 16 2 36 ジョイントパイプ φ 16 1 37 スポンジシート 50×50×3 1	33	ホース ϕ 22 L=60	1	
36 ジョイントパイプ φ 16 1 37 スポンジシート 50×50×3 1	34	ホース φ 16 L=65	1	
36 ジョイントパイプ φ 16 1 37 スポンジシート 50×50×3 1	35	ホースクランプ <i>ϕ</i> 16	2	
37 スポンジシート 50×50×3 1	36		1	
38 ブラケット No.1 1	37	スポンジシート 50 × 50 × 3	1	
	38	ブラケット No.1	1	

<u> </u>	フリスト		No. 2
連番	品名	数量	備考
39	ブラケット No.2	1	
40	コルゲートチューブ ϕ 13 L=1000	1	
41	コルゲートチューブ ϕ 10 L=250	1	
42	コルゲートチューブ φ 5 L=1000	1	
43	タイタップ(大)	10	
44	タイラップ(中)	10	
45	タイラップ(小)	10	
46	六角ボルト M6 L=30	2	
47	六角ボルト M8 L=20	1	
48	キャップボルト M6 L=15	6	
49	キャップボルト M6 L=20	2	
50	キャップボルト M8 L=20	2	
51	キャップボルト M8 L=25	1	
52	キャップボルト M8 L=35	3	
53	キャップボルト M8 L=40	1	
54	キャップボルト M8 L=65	1	
55	キャップボルト M10 L=40	2	
56	皿ボルト M6 L=30	1	
57	皿ボルト M8 L=65	2	
58	ワッシャ M6 用	10	
59	ワッシャ M6 用 t=1.0	2	
60	ワッシャ M6 用 大径	2	
61	ワッシャ M8 用	10	
62	ワッシャ M10 用	2	
63	フランジ付ナット M6	3	
64	インタークーラー	1	
101	ブラケット No.3	1	
102	ブラケット No.4	1	
103	ブラケット No.5	1	
104	ブラケット No.6	1	
105	ブラケット No.7	1	
106	コルゲートチューブ φ 15 L=2000	1	
107	ブラケット No.8	1	
108	ブラケット No.9	1	
109	パイプ No.3	1	
110	パイプ No.4	1	
111	パイプ No.5	1	

	ークリスト No.3			
連番	品名	数量	備考	
112	パイプ No.6	1		
113	パイプ No.7	1		
114	パイプ No.8	1		
115	ブラケット No.10	1		
116	ブラケット No.11	1		
117	ブラケット No.12	1		
118	ブラケット φ60用	2		
119	ブラケット φ50用	2		
120	ブラケット No.13	1		
121	シリコンホース ϕ 80- ϕ 60	1		
122	シリコンホース φ 60 L=70	1		
123	シリコンホース φ 60 L=20	2		
124	シリコンホース φ 60- φ 50	3		
125	シリコンホース φ 50 L=70	2		
126	シリコンホース φ 50 L=55	1		
127	シリコンホース φ 50 L=20	3		
128	ホースバンド#48	1		
129	ホースバンド#36	9		
130	ホースバンド#28	11		
131	スポンジシート 50×50×3	3		
132	ブラケット No.14	1		
133	ブラケット No.15	1		
134	スペーサー(D20×d10×t5)	1		
135	コルゲートチューブ φ 7 L=250	1		
136	タイタップ(大)	10		
137	タイラップ(中)	40		
138	タイラップ(小)	40		
139	キャップボルト M6 L=12	3		
140	キャップボルト M6 L=15	20		
141	キャップボルト M6 L=20	1		
142	キャップボルト M8 L=15	6		
143	キャップボルト M8 L=20	3		
144	ワッシャ M6 用	25		
145	ワッシャ M6 用 大径	1		
146	ワッシャ M8 用	10		
147	フランジ付ナット M6	15		
148	フランジ付ナット M8	6		

連番	品名	数量	備考
201	専用 F-CON iS+OSCセット	1	
	専用 F-CON iS	1	
	OSC	1	
	OSC ハーネス	1	
	F-CON iS 通信ケーブル	1	
202	圧力センサー	1	
203	F-CON +VAC ハーネス	1	
204	INJ アダプタ 2GR	1	
205	ブラケット No.16	1	
206	キャップボルト M6 L=15	3	
207	ワッシャ M6 用	3	
208	フランジ付ナット M6	2	
209	ホース ϕ 4 L=2000	1	
210	ホース <i>ϕ</i> 6 L=500	1	
211	スリ ー ウェイ <i>ϕ</i> 6- <i>ϕ</i> 4- <i>ϕ</i> 6	1	
212	ジョイントパイプ φ 8− φ 6	1	
213	ホースクランプ ϕ 6	4	
214	ホースバンド#4	2	
215	エアフィルタ φ 6	1	
216	GCC コネクタ	1	
217	GCC 端子	10	
301	取付説明書	1	
302	取扱説明書	1	

※パーツリスト内の部品の中には、補修パーツとして設定してある部品もありますので、別途ご購入の際は、 受注センターにお問い合わせください。

受注センター

TEL: 0544-29-1234 FAX: 0544-29-1151

1. ノーマルパーツ取外し・移動

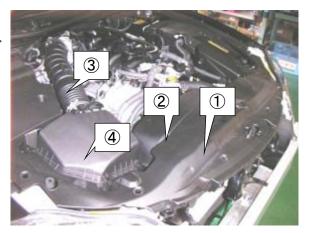
パーツリスト			
※右表の No. は 3~6 ページのパーツリストの連番に	No.	品名	数量
対応します。	P43	タイラップ(大)	(2)
	P44	タイラップ(中)	(1)

整備要領書に従って作業を行なう。

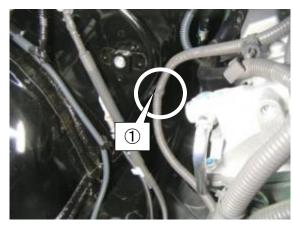
- (1) バッテリのマイナス端子接続を取外す。
- (2) エンジンアンダカバーを取外す。
- (3) フロントバンパーを取外す。
- (4) フロントバンパ エネルギーアブソーバーを取外す。
- (5) 外気温センサのカプラを取外し、フロントバンパリーンホースメントを取外す。
- (6)運転席側ラジエータ グリル サイドエアガイドを取外す。



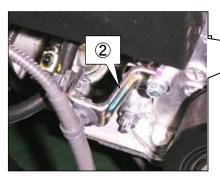
- (7) 運転席側ブレーキエアガイドを取外す。
- (8) エンジンカバーを取外す。
- (9) ①のクールエアインテークダクトシール、②のエア ダ クト、③のエアホース、④のエアクリーナを取外す。

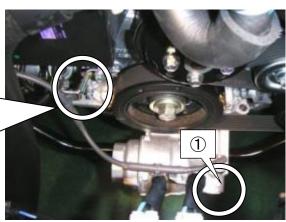


(10)①のエアフロセンサーのハーネスを車体から切り離す。



(11) ①の油圧センサーのカプラと②のハーネスブラケット を取外す。

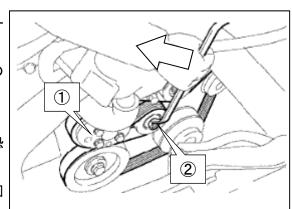




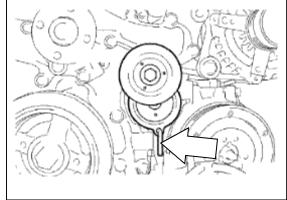
- (12) ファン&オルタネータ V ベルトを張ったまま、①のウォーターポンププーリーのボルト 4 本を緩める。
- (13) テンショナーのプーリーセットボルトに工具を掛け、②の テンショナーを左に回転させて張力を緩める。

アドバイス

- ・車両下方より作業を行なうと、テンショナーが破損する恐 れがある。
- ・プーリーセットボルトは左ネジを使用しているため、右回 転させるとプーリーセットボルトが緩む。



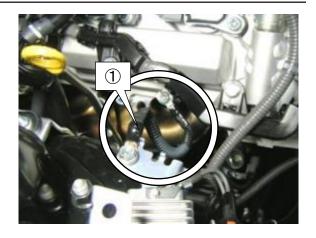
- (14)5mm の六角レンチを使用し、図のようにテンショナを固定 させてベルトを取外す。
- (15) ウォーターポンププーリーを取外す。



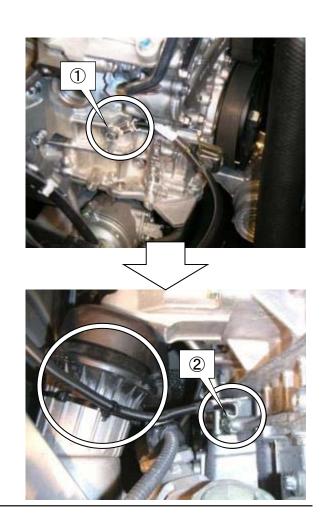
(16)①のアースを取外す。

アドバイス

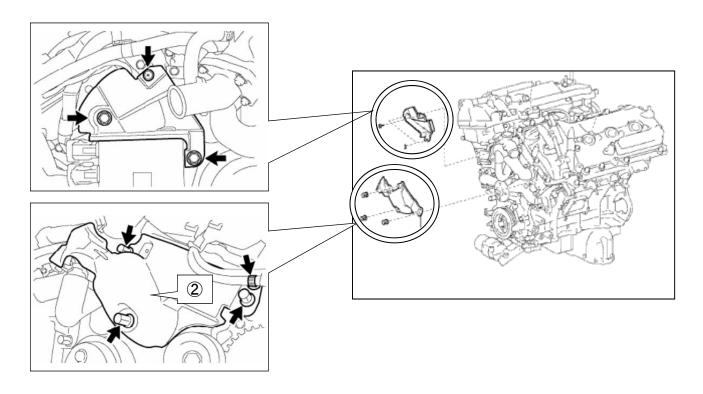
・サクションパイプ取付時、再使用する。



(17) ①のアース取付位置を②の位置に変更し、ケーブル部 E/G マウントにタイラップで固定する。



(18) E/G 前面①のエンジンカバーNo. 1、②のエンジンカバーNo. 2 を取外す。

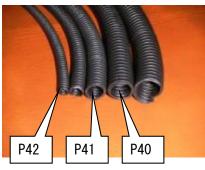


2. インジェクタドライバの移動



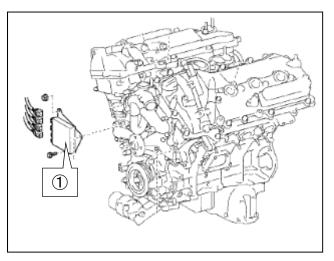
パーツリスト



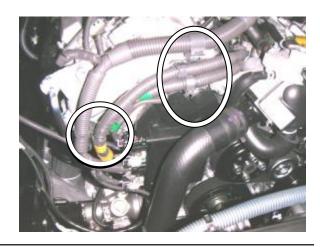


No.	品名	数量
P38	ブラケットNo.1	1
P39	ブラケットNo.2	1
P40	コルゲートチューブ <i>φ</i> 13 L=1000	1
P41	コルゲートチューブφ10 L=250	1
P42	コルゲートチューブφ5 L=1000	1
P48	キャップボルト M6 L=15	3
P58	ワッシャ M6 用	3
P59	ワッシャ M6 用 t =1.0	2
P60	ワッシャ M6 用大径	2
P63	フランジ付ナット M6	1
P43	タイラップ(大)	(3)
P44	タイラップ(中)	(3)
P45	タイラップ(小)	(3)
P46	六角ボルト M6 L=30	2

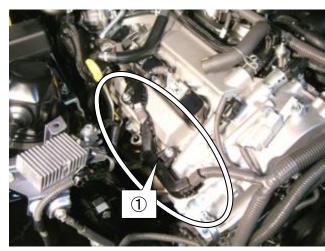
(1)①のインジェクタドライバ及び、それが固定してある スタットボルトを取外す。



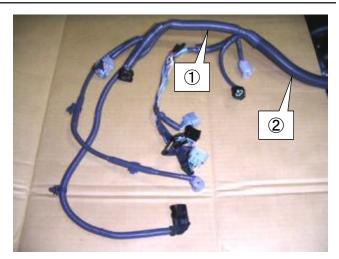
(2)ハーネス3本が固定してあるステー(2個)を取外す。



- (3) イグニッションコイル及びクランクポジションセンサのカプラを取外す。
- (4) イグニッションコイル+クランクポジションセン サのハーネスから①の樹脂カバーを取外す。

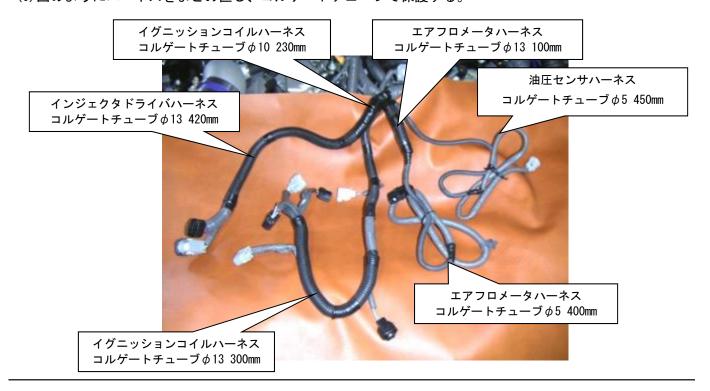


(5)①、②の2箇所、コルゲートチューブを取外す。





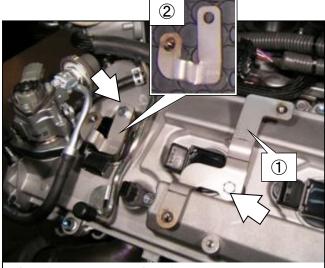
(6) 図のようにハーネスをまとめ直し、コルゲートチューブで保護する。



- (7) スパークプラグを HKS M40 iL (コード No. 50003-M40 iL) または、M45 iL (コード No. 50003-M450 iL) に交換 する。この際、3 番、5 番のイグニッションコイルは、スパークプラグに取付けた後、ボルトでの固定をしない状態にしておく。
- (8) イグニッションコイル及びクランクポジションセンサのカプラを接続する。
- (9) インジェクタドライバ移動のため、①のブラケット No. 1、②のブラケット No. 2 を 3 番、5 番のイグニッションコイル上に取付ける。

(イグニッションコイル+クランクポジションセンサのハーネスは写真に写っていない。)





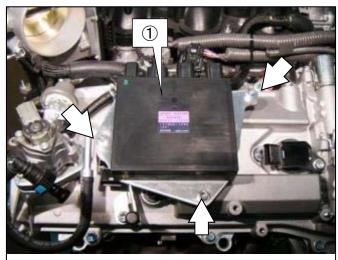
①のブラケット No. 1、②のブラケット No. 2 を取付ける。

- ・六角ボルト M6 L=30 ×2
- ・ワッシャ M6 t=1.0 ×2

アドバイス

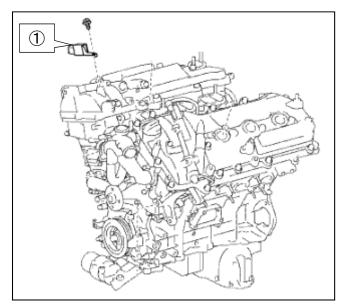
・ワッシャ M6 は必ず t=1.0 を使用する。 t =1.6 を使用するとボルトがインジェクタ ドライバと干渉する場合がある。

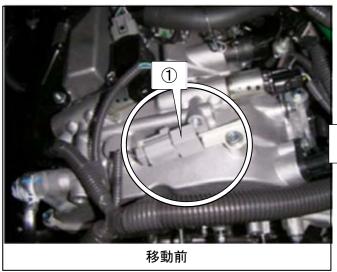
(10) (9) で取付けたブラケット No. 1、No. 2 に①のインジェクタドライバを取付ける。

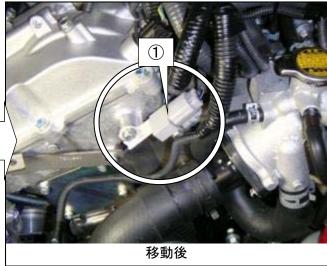


- ・キャップボルト M6 L=15 ×3
- ・フランジ付ナット M6
- ・プレーンワッシャ M6 t=1.6 ×3

(11)①のラジオセッティングコンデンサを移動する。







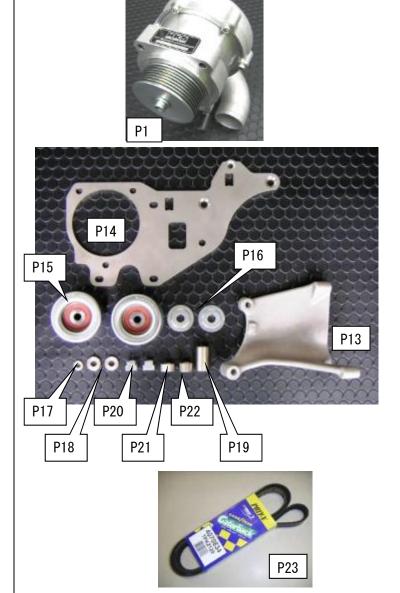
(12)①のインジェクタドライバのカプラを接続し、タイラップで束ねる。



3. GT2 スーパーチャージャーの取付け

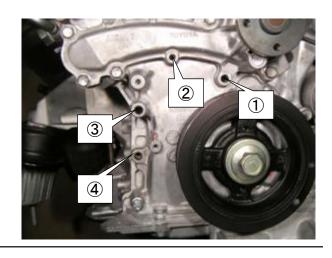




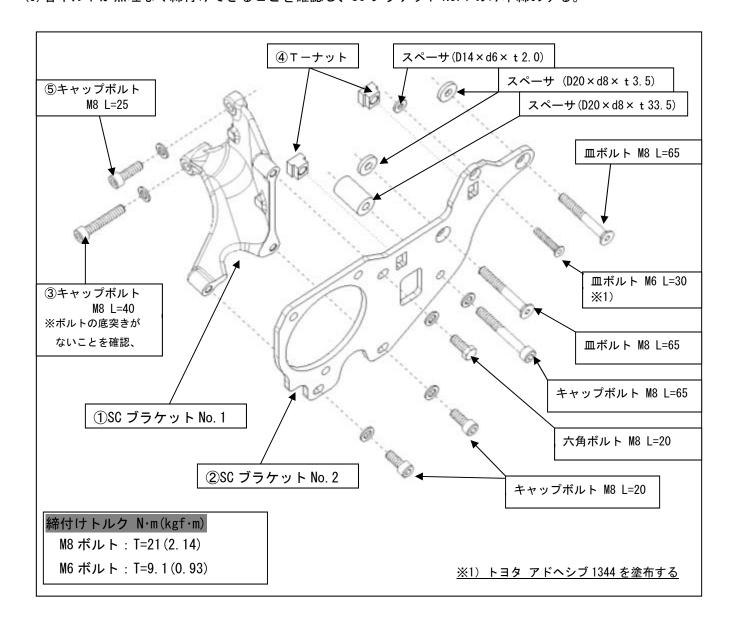


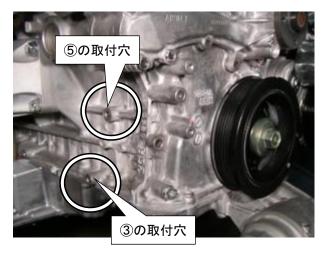
No.	品名	数量	
P1	GT2 スーパーチャージャー	1	
P13	SC ブラケット No. 1 SC ブラケット No. 2		
P14			
P15	プーリー	2	
P16	プーリーカバー	2	
P17	スペーサー (D14×d6×t2)	1	
P18	スペーサー (D20×d8×t3.5)	2	
P19	スペーサー (D20×d8×t33.5)	1	
P20	T-ナット	2	
P21	スペーサー (D20×d10×t10.5)	1	
P22	スペーサー (D20×d10×t12)	1	
P23	ベルト	1	
P47	六角ボルト M8 L=20	1	
P50	キャップボルト M8 L=20	2	
P51	キャップボルト M8 L=25	1	
P52	キャップボルト M8 L=35	3	
P53	キャップボルト M8 L=40	1	
P54	キャップボルト M8 L=65	1	
P55	キャップボルト M10 L=40	2	
P56	皿ボルト M6 L=30		
P57	皿ボルト M8 L=65	2	
P61	ワッシャ M8 用	9	
P62	ワッシャ M10 用	2	

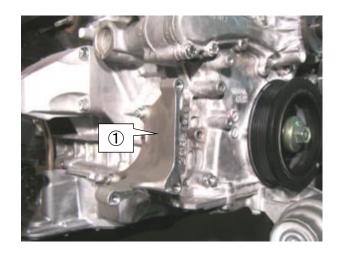
(1) ①~④のボルト4本を取外す。



- (2) ①の SC ブラケット No. 1、②の SC ブラケット No. 2 を E/G に仮付けする。
 - ・この時、③のキャップボルト M8 L=40 のボルトが底突きしていないか確認する。底突きしている場合は、ボルトの先端を加工、または、ワッシャを1枚追加し、底突きしないようにする。
 - ・仮付け時は T-ナット不要。
 - ・②の SC ブラケット No. 2 を取付後、G T 2 スーパーチャージャーの取付けはできない。
- (3) 各ボルトが無理なく締付けできることを確認し、SC ブラケット No. 1 のみ本締めする。









- (4) ②の SC ブラケット No. 2 を取外す。
- (5) テープや瞬間接着剤等を使用して、②の SC ブラケット No. 1 に④の T-ナットを仮付けする。
- (6) 車体が傷つかないように、GT2 スーパーチャージャーをウエス等で包み、GT2 スーパーチャージャーを ①の SC ブラケット No. 1 の上に乗せる。
- (7) ②の SC ブラケット No. 2 に GT2 スーパーチャージャーを仮付けする。
- (8) ②の SC ブラケット No. 2 を本付けする。
- (9) GT2 スーパーチャージャーを②SC ブラケット No. 2 に本付けする。

締付けトルク N·m(kgf·m)

T=29(3.0)

(10) プーリー①、②を SC ブラケット No. 2 に取付ける。

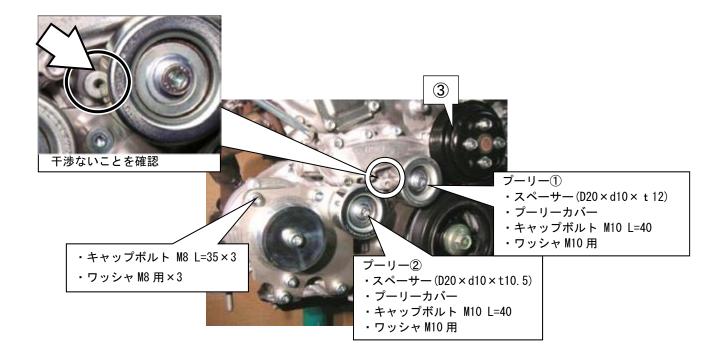
アドバイス

・プーリー①と②はスペーサーの厚さが異なっているため、間違えないようにする。

締付けトルク N·m(kgf·m)

T=43(4.38)

(11) プーリー①が E/G のボスと干渉が無いこと確認する。干渉する場合は、ボスを 2mm 程度削り、干渉しないようにする。



(12)③のウォータポンププーリーを取付ける。(SST 品番: 09960-10010 (09962-01000, 09963-00700))

締付けトルク N·m(kgf·m)

T=21 (2. 14)

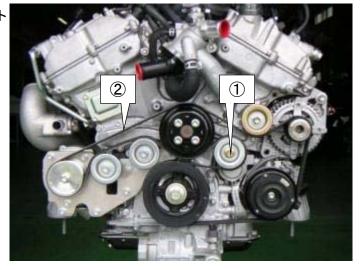
(13) ①のテンショナーの張力を緩めながら②のベルトを取付ける。

アドバイス

・5mm の六角レンチをはずし忘れないこと。

⚠ 注意

- ベルトがプーリーの溝にしっかり合っていることを確認してください。溝にしっかりとあっていない場合、ベルトが傷つき、破損する恐れがあります。
- ・オイル、冷却水等が付着しないように取扱って ください。



4. サクションパイプの取付け

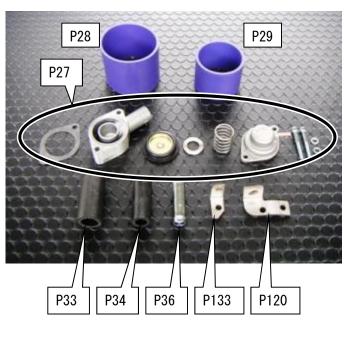


部品装着イメージ

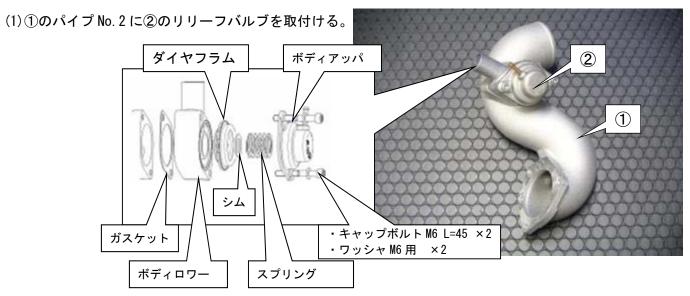
パーツリスト



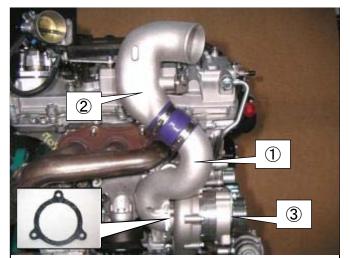




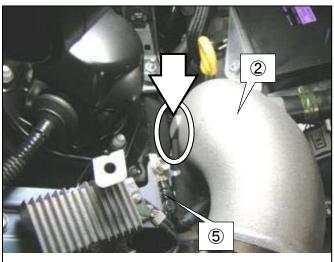
No.	品名	数量
P24	パイプNo.1	1
P25	パイプNo.2	1
P26	ガスケット	1
P27	リリーフバルブ	1
P28	シリコンホース φ80 L=70	1
P29	シリコンホース φ65 L=55	1
P30	ホースバンド#48	2
P31	ホースバンド#40	2
P32	ホースバンド#16	1
P33	ホース φ 22 L=60	1
P34	ホース Ø 16 L=65	1
P35	ホースクランプφ16	2
P36	ジョイントパイプφ16	1
P37	スポンジシート 50×50×3	1
P48	キャップボルト M6 L=15	3
P49	キャップボルト M6 L=20	2
P58	ワッシャ M6 用	5
P63	フランジ付ナット M6	1
P120	ブラケット No. 13	1
P133	ブラケット No. 15	1
P139	キャップボルト M6 L=12	1
P140	キャップボルト M6 L=15	1
P144	ワッシャ M6 用	2
P147	フランジ付ナット M6	1
_		



- (2) ②のリリーフバルブにホース φ22 L=60 を取付ける。
 - ・ホースバンド#16
- (3)①、(3)のサクションパイプを(3)の GT2 スーパーチャージャーに仮付けする。
- (4) 純正クリーナ BOX を取付け、サクションパイプの位置出し後、本締めする。 位置出しは、
 - ・純正クリーナ BOX を上に持ち上げた状態で合口を決める。
 - ・ストラットタワーとのクリアランス 8mm 以上確保する。

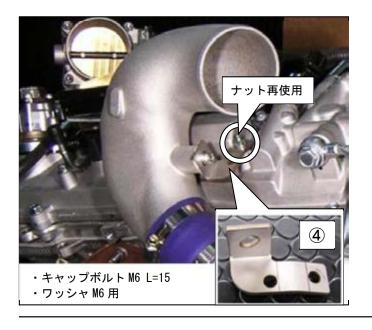


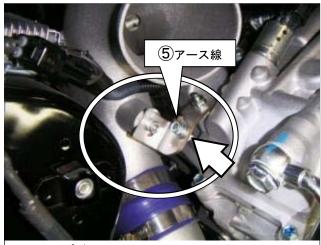
- ・ガスケット
- ・キャップボルト M6 L=15
- ・キャップボルト M6 L=20 ×2
- ・ワッシャ M6 用 ×3
- ・ホースバンド#40 ×2
- ・シリコンホースφ65 L=55



クリアランスを 8mm 以上確保

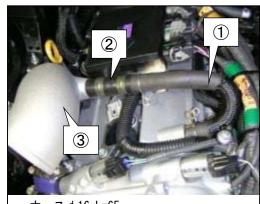
- (5) **4**のブラケット No. 13 を取付ける。
- (6) クリーナ BOX を取外す。
- (7)取外していた⑤のアースを取付ける。
 - ·E/G 側についていた端子を、車体側に、車体側についていた端子を④のブラケット No. 13 に取付ける。





- ・キャップボルト M6 L=15
- ・ワッシャ M6 用
- ・フランジ付ナット M6

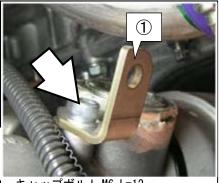
(8) ①のブローバイリターンホースを $200\phi16$ ホースで 延長して③のサクションパイプに接続する。



- ・ホース ϕ 16 L=65
- ・ジョイントパイプ ϕ 16
- ・ホースクランプ ϕ 16 ×2

(9)①のブラケット No.15 を使用して、パワーステアリング ラックに固定してあるカプラーのブラケットを移動する。





- ・キャップボルト M6 L=12
- ・ワッシャ M6 用

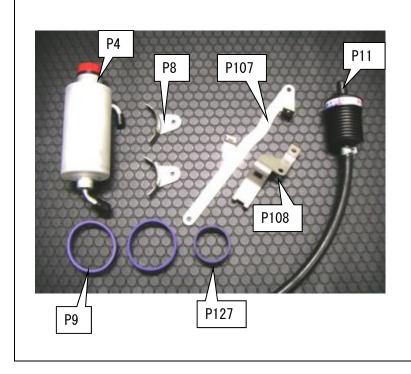


- ・キャップボルトM6 L=15
- ・ワッシャ M6 用
- ・フランジ付ナット M6

5. オイルタンク、オイルフィルタの取付け







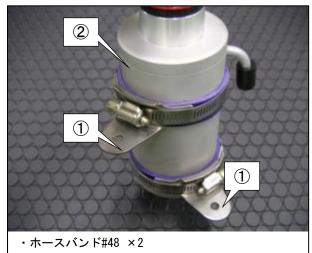
No.	品名	数量
P4	オイルタンク	1
P7	ホースクランプ φ 10	4
P8	ブラケット φ 70 用	2
P9	シリコンホース φ 70 L=20	2
P10	ホースバンド#48	2
P11	ホース Assy ϕ 10	1
P107	ブラケット No.8	1
P108	ブラケット No.9	1
P127	シリコンホース ϕ 50 L=20	1
P129	ホースバンド#36	1
P137	タイラップ(中)	(4)
P140	キャップボルト M6 L=15	4
P144	ワッシャ M6 用	4
P147	フランジ付ナット M6	4

アドバイス

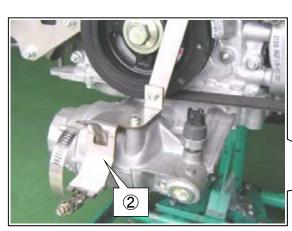
・GT2 スーパーチャージャーのトラクションオイルに異物が混入すると GT2 スーパーチャージャーが破損します。

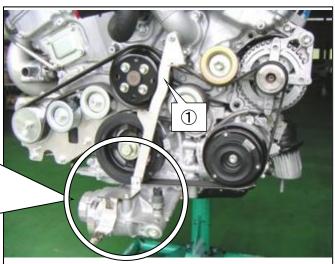
オイル配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないよう、ホース端,ニップルには栓をして作業を行なってください。

- (1) オイルタンク内に異物が無いことを確認する。
- (2)①のブラケット ϕ 70 用を②のオイルタンクに取付ける。

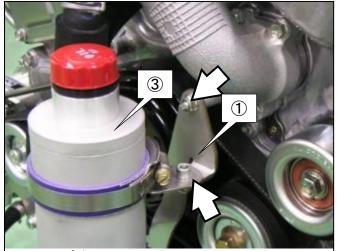


- ・シリコンホース φ 70 L=20 ×2
- (3)①のブラケット No. 8、②のブラケット No. 9 を取付ける。
- (4)③のオイルタンクを①のブラケット No. 8 に取付ける。





- ・キャップボルト M6 L=1.5×2
- ・ワッシャ M6 用 ×2

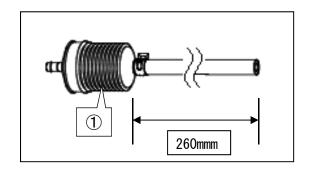


- ・キャップボルト M6 L=15 ×2
- ・ワッシャ M6 用 ×2
- ・フランジ付ナットM6 ×2

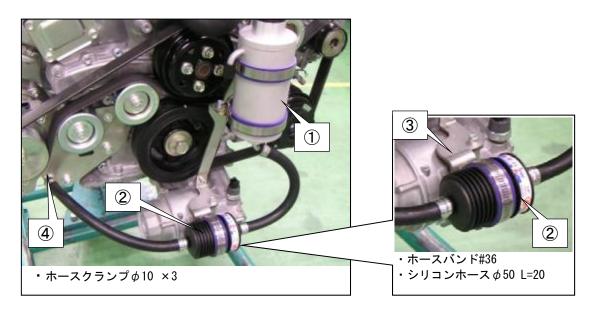
- (4) ①のホース Assy φ 10 のホースをオイルフィルタ側 から 260 mmで切断する。
- (5) 残りのホース Assy φ 10 を 260 mmに切断する。

アドバイス

・切断して残ったホース ϕ 10 は 9. 圧力センサ取付けと リリーフバルブ作動圧配管の取付け の作業で使用するため、なくさないこと。



- (6) 切断したホース ϕ 10 で①のオイルタンクと②オイルフィルタを接続する。 アドバイス
 - ・オイルフィルタとホースの接続は下図の通り行いオイルフィルタの向きを間違えないこと。
- (7) ②のオイルフィルタを③のブラケット No. 9 に取付ける。
- (8) (6) を4の GT2 スーパーチャージャーの ϕ 10 ニップルに接続する

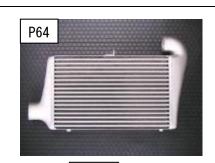


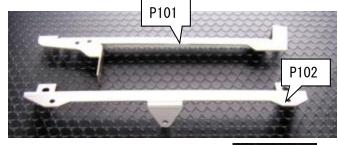
- (9)油圧センサーのハーネスをブラケット No. 8 にタイラップで固定する。
- (10)油圧センサーのカプラーを取付ける。

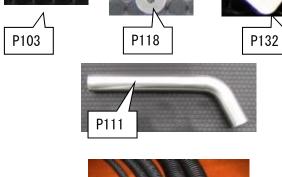
6. インタークーラーの取付け

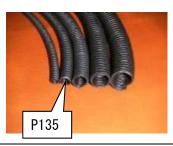


パーツリスト







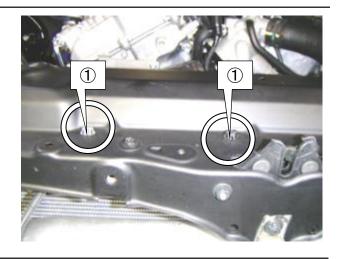


No.	品名	数量
P64	インタークーラー	1
P101	ブラケット No.3	1
P102	ブラケット No.4	1
P103	ブラケット No.5	1
P111	パイプ No.5	1
P118	ブラケット φ60 用	1
P122	シリコンホース φ 60 L=70	1
P129	ホースバンド#36	3
P132	ブラケット No.14	1
P134	スペーサー(D20×d10×t5)	1
P135	コルゲートチューブ φ 7 L=250	1
P137	タイラップ(中)	(2)
P138	タイラップ(小)	(1)
P139	キャップボルト M6 L=12	2
P140	キャップボルト M6 L=15	6
P141	キャップボルト M6 L=20	1
P142	キャップボルト M8 L=15	1
P143	キャップボルト M8 L=20	3
P144	ワッシャ M6 用	9
P145	ワッシャ M6 用 大径	1
P146	ワッシャ M8 用	6
P147	フランジ付ナット M6	4
P148	フランジ付ナット M8	3

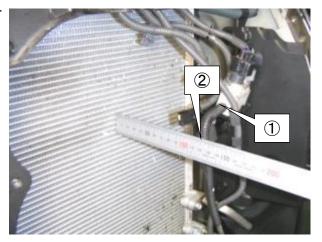
- (1)ホーン(左右)を取外す。
- (2) 運転席側ホーンのブラケットの取付け角度を図のように変更する。



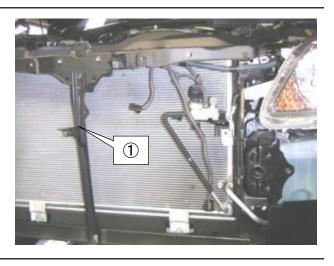
(3)①の運転席側ホーンハーネスのクリップを取外し、助手席側ホーン付近までカプラが届くようにする。



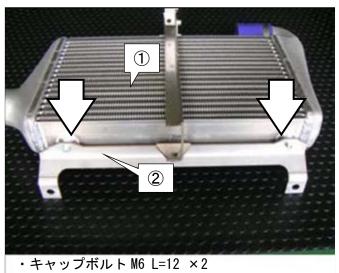
- (4) ①のエアコンパイプの②の位置が、エアコンコンデンサから 120mm 離れるようにを車両前方へ曲げ加工する。
- (5) ①のエアコンパイプにコルゲートチューブ φ7 L=250 を取付ける。



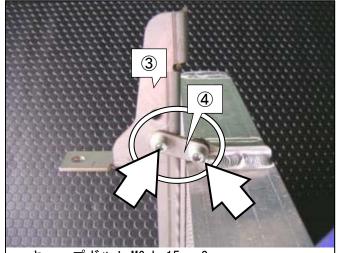
(6)①のセンターブレスを取外す。



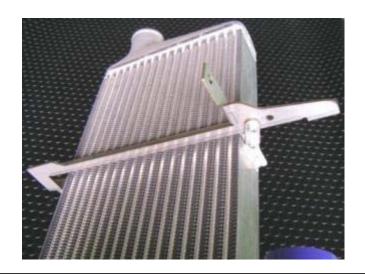
(7) ①の I/C コア ASSY に②のブラケット No. 3、③のブラケット No. 4、④のブラケット No. 5 を取付ける。



・ワッシャ M6 用 ×2



- ・キャップボルト M6 L=15 ×2
- ・ワッシャ M6 用 ×2
- ・フランジ付ナット M6 ×2



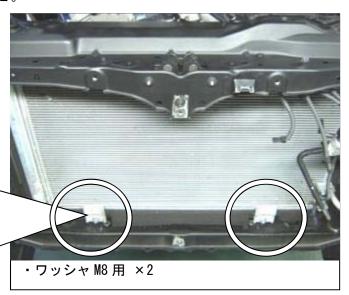
(8) I/Cコア ASSY を車両に取付ける

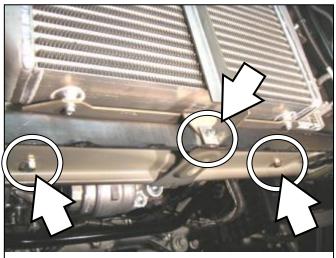
アドバイス

・エアコンコンデンサを傷つけないようにすること。



・①のワッシャ M8 用を介して取付ける (左右とも)





- ・キャップボルト M6 L=20
- ・ワッシャ M6 用
- ・キャップボルト M8 L=20 ×2
- ・ワッシャ M8 用 ×2
- ・フランジ付ナット M8 ×2

・キャップボルト M6 L=15

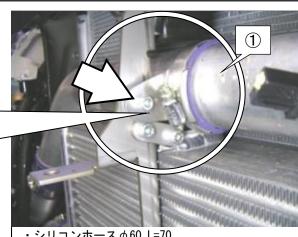
純正 M6 ナット再使用+ワッシャ M6 大径

・ワッシャ M6 用 大径

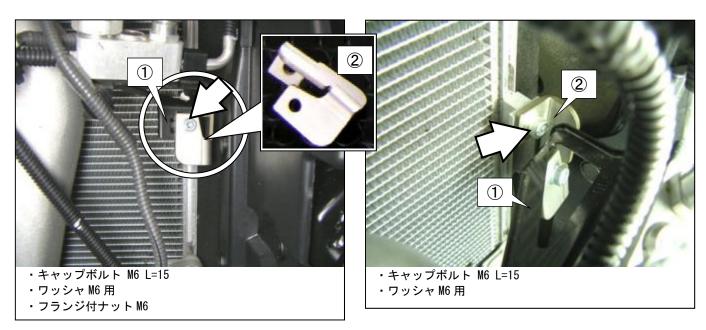
・ワッシャ M6 用

(9) ①のパイプ No. 5 にシリコンホース φ 60 L=20 を取付け、 I/Cコア ASSY に仮付けする。



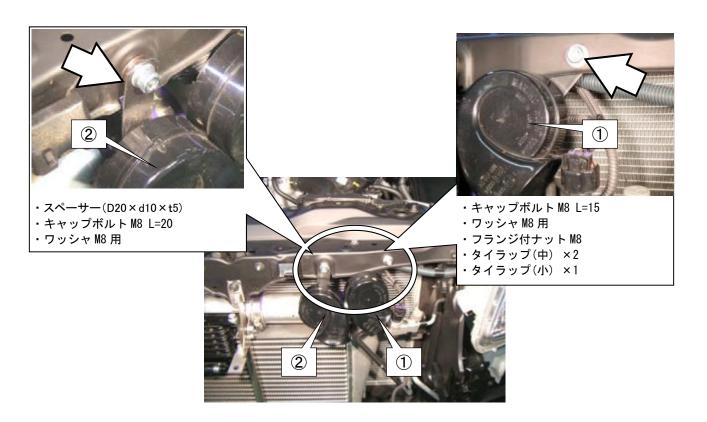


- シリコンホースφ60 L=70
- ・シリコンホース ϕ 60 L=20
- ・ホースバンド#36 ×3
- ・キャップボルト M6 L=15
- ・ワッシャ M6 用
- ・フランジ付ナット M6
- (10) ①のエアコンパイプのブラケットを②のブラケット No. 14 で固定する。



(11)ホーンを移動して取付ける。

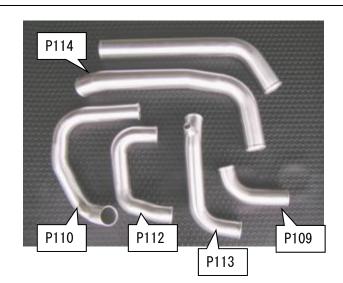
(12) 余分なハーネスをタイラップで束ねる

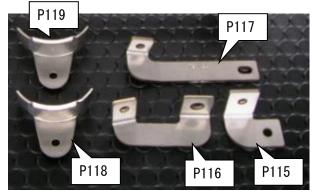


7. インタークーラーパイプの取付け



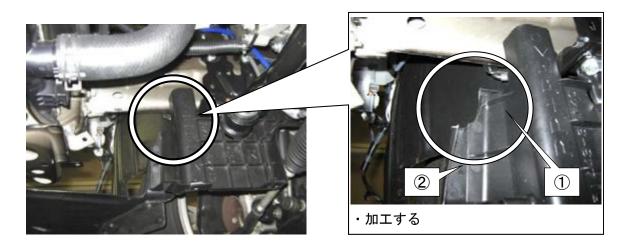
パーツリスト

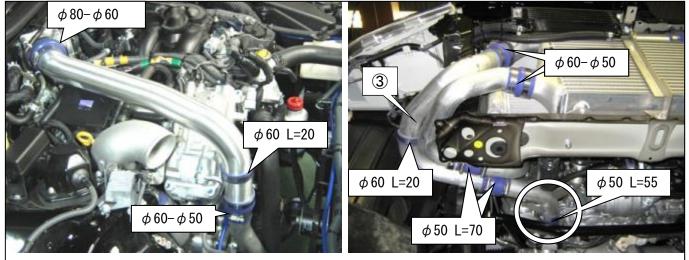




No.	品名	数量
P32	ホースバンド#16	1
P109	パイプ No.3	1
P110	パイプ No.4	1
P112	パイプ No.6	1
P113	パイプ No.7	1
P114	パイプ No.8	1
P115	ブラケット No.10	1
P116	ブラケット No.11	1
P117	ブラケット No.12	1
P118	ブラケット φ60用	1
P119	ブラケット φ50 用	2
P121	シリコンホース φ 80- φ 60	1
P123	シリコンホース ϕ 60 L=20	2
P124	シリコンホース φ 60- φ 50	3
P125	シリコンホース ϕ 50 L=70	2
P126	シリコンホース ϕ 50 L=55	1
P127	シリコンホース ϕ 50 L=20	2
P128	ホースバンド#48	1
P129	ホースバンド#36	5
P130	ホースバンド#28	11
P131	スポンジシート 50×50×3	3
P137	タイラップ(中)	(2)
P138	タイラップ(小)	(2)
P140	キャップボルト M6 L=15	5
P144	ワッシャ M6 用	5
P147	フランジ付ナット M6	3

- (1) ①のエンジンアンダーカバー(右側)と②のインナーフェンダーを、③のパイプ No. 4 と干渉しないように加工する。
- (2) パイプ No. 4 にシリコンホース ϕ 50 L=20 を通しておく。
- (3) パイプ No. 8 にシリコンホース ϕ 60 L=20 を通しておく。
- (4) 図のようにパイプ No. 3~No. 8 を取付ける。





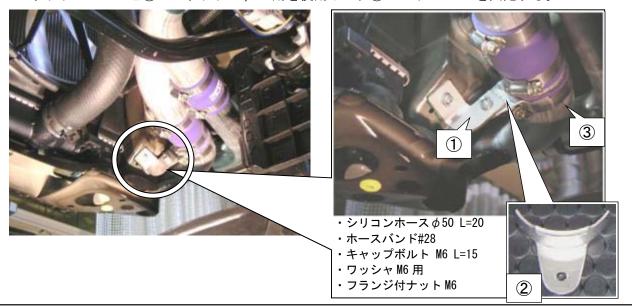
- ・シリコンホース φ80-φ60
- ・シリコンホース ϕ 60 L=20 ×1
- ・シリコンホース ϕ 60- ϕ 50 × 3

- ・シリコンホース ϕ 50 L=70 × 2
- ・シリコンホース ϕ 50 L=20 × 2
- ・シリコンホース φ 50 L=55

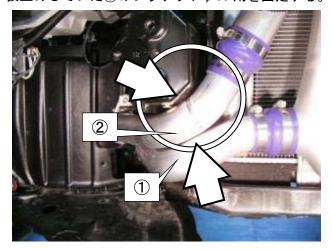
- ・ホースバンド#48
- ・ホースバンド#36 ×5
- ・ホースバンド#28 ×11

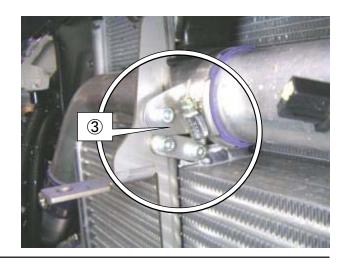
・ホースバンド#16

(5) ①のブラケット No. 10 と②のブラケット ϕ 50 用を使用して、③のパイプ No. 4 を固定する。



- (6) ①のパイプ No. 4 と②のパイプ No. 6 および車体のクリアランスが狭い部分にスポンジシートを張る。
- (7) 仮止めしていた③のブラケット ϕ 60 用を固定する。

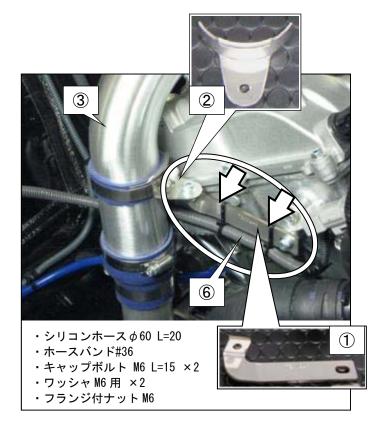


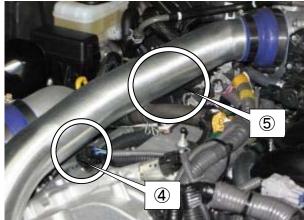


(8) ①のブラケット No. 11 と②のブラケット ϕ 50 を使用して、③のパイプ No. 6 を固定する。



- (9) ①のブラケット No. 12 と②のブラケット ϕ 60 を使用して、③のパイプ No. 8 を固定する。 その際、④の油圧ソレノイドのカプラとのクリアランス、⑤のインジェクタドライバとパイプ No. 8 のクリアランスを、3mm 以上確保できるように位置出しを行なう。必要に応じてスポンジシートを使用する。
- (10) ③のパイプNo. 8を固定後、⑥のエアフロセンサーハーネスを①のブラケットNo. 12にタイラップで 固定する。



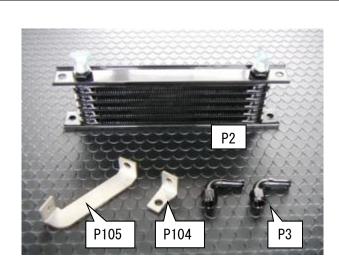


- 33 -

8. オイルクーラーの取付け







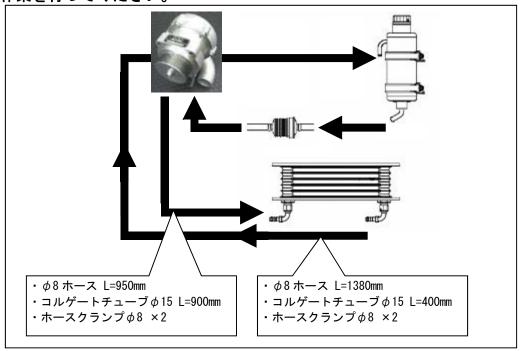


No.	品名	数量
P2	オイルクーラーコア	1
P3	フィッティング	2
P6	ホースクランプ φ 8	4
P12	ホース ϕ 8 L=2500	1
P104	ブラケット No.6	1
P105	ブラケット No.7	1
P106	コルゲートチューブ φ 15 L=2000	1
P136	タイタップ(大)	(6)
P137	タイラップ(中)	(15)
P138	タイラップ(小)	(14)
P140	キャップボルト M6 L=15	2
P142	キャップボルト M8 L=15	3
P144	ワッシャ M6 用	2
P146	ワッシャ M8 用	3
P147	フランジ付ナット M6	1
P148	フランジ付ナット M8	3

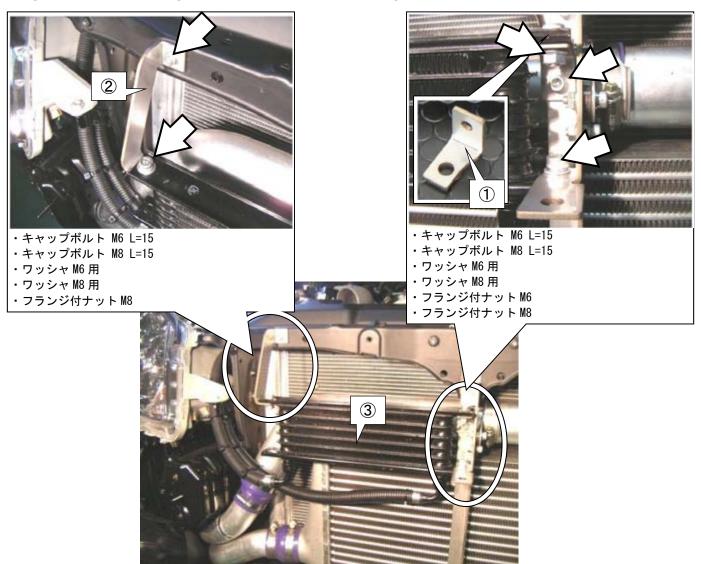
アドバイス

- ・GT2 スーパーチャージャーのトラクションオイルに異物が混入すると GT2 スーパーチャー ジャーが破損します。
 - オイル配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないよう、ホース端,ニップルには栓をして作業を行なってください。
- ・後席エアコンディショナーつき車両の場合は加工取付けが必要です。概要は50ページをご参照ください。

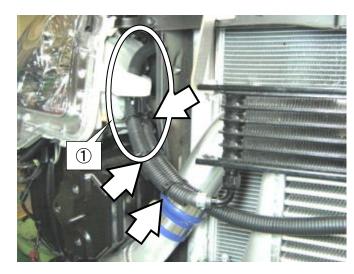
〇図にトラクションオイル配管図を示します。以降の作業は図を参照し、配管の間違いがない ように作業を行ってください。

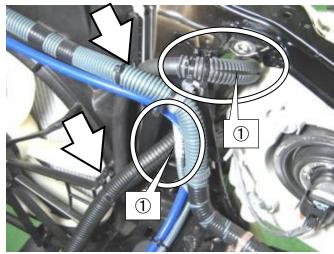


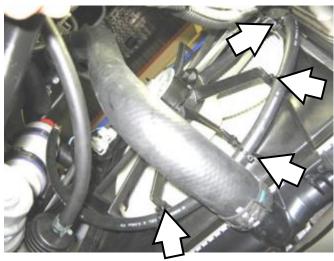
(1)①のブラケット No. 6、②のブラケット No. 7 を使用して、③のオイルクーラーコアを取付ける。

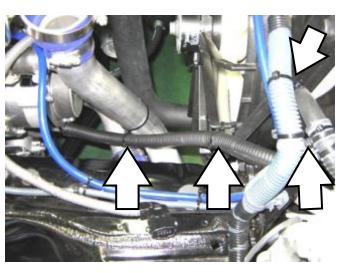


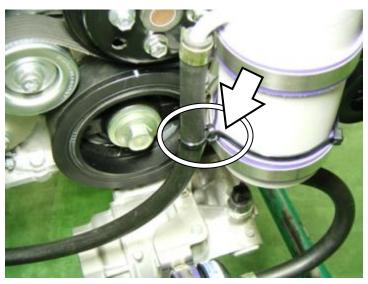
- (2) ϕ 8 ホースを 950mm と 1380mm に切り分ける。 コルゲートチューブを 900mm と 400mm に切り分ける。
- (3) フィッティングと(2) のホースを使用して、GT2 スーパーチャージャーとオイルクーラー、オイルクーラーとオイルタンクを接続する。ホースは運転席ヘッドライト取付部(図中①の円で囲んだ部分)を通して、エンジンルームへ導入する。
- (4) φ8 ホースにコルゲートチューブを被せる。
- (5) タイラップでホース φ8 を固定する。







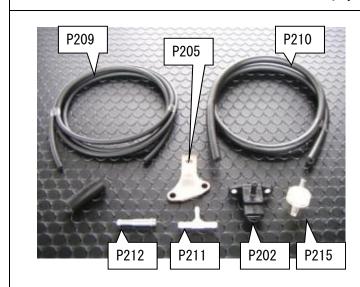




9. 圧力センサ取付けとリリーフバルブ作動圧配管の取付け

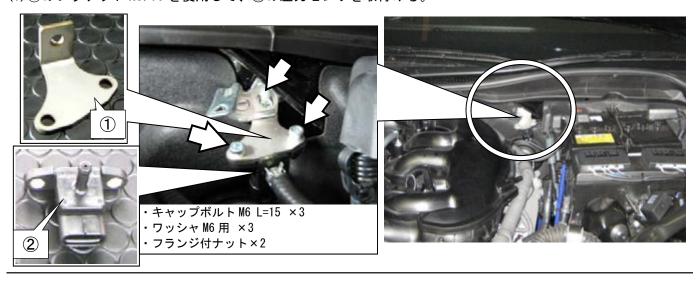




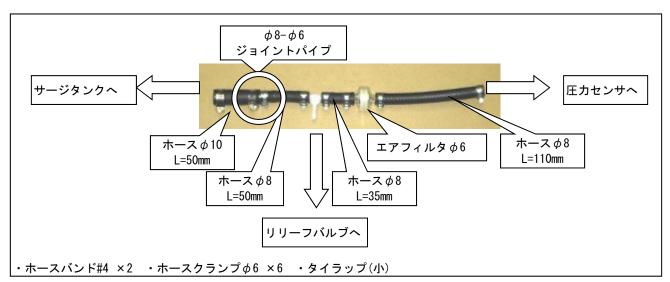


No.	品名	数量
P136	タイタップ(大)	(1)
P137	タイラップ(中)	(12)
P138	タイラップ(小)	(13)
P202	圧力センサー	1
P205	ブラケット No.16	1
P206	キャップボルト M6 L=15	3
P207	ワッシャ M6 用	3
P208	フランジ付ナット M6	2
P209	ホース ϕ 4 L=2000	1
P210	ホース φ 6 L=500	1
P211	スリーウェイ φ6-φ4-φ6	1
P212	ジョイントパイプ φ 8- φ 6	1
P213	ホースクランプ φ 6	6
P214	ホースバンド#4	2
P215	エアフィルタφ6	1

(1) ①のブラケット No. 16 を使用して、②の圧力センサを取付ける。

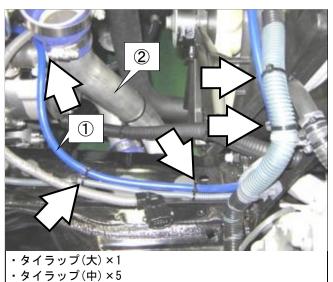


- (2) ①のサージタンクの ϕ 10 ニップルとリリーフバルブ、②の圧力センサを接続する。
 - ・ホース φ8 は、L=500 を切断して使用する。
 - ・ホース ϕ 10 は、5. オイルタンク、オイルフィルタの取付けで切断したホース ϕ 10 の残りを使用する。

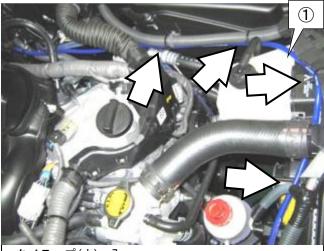




(3)接続したホース φ4 を、②のパイプ No. 7 および車体にタイラップで固定する。



・タイラップ(小)×5



- ・タイラップ(中)×7
- ・タイラップ(小)×7

10. E/G 制御系部品の取付け

パーツリスト 数量 No. 品名 P201-1 専用 F-CON iS 1 P201-2 OSC 1 P201-3 OSC ハーネス 1 F-CON iS 通信ケーブル P201-4 1 F-CON +VAC ハーネス P203 1 P204 INJ アダプタ 2GR 1 P201-1 P216 GCC コネクタ 1 P217 GCC 端子 10 P203 P201-2 P204 P201-3 P216 P217 P201-4

※F-CON iSに同梱されているオプションパーツリストの内、ミクスチャーコントローラーは本製品では使用できません。また、ミクスチャーコントローラー以外のオプションパーツは本製品に含まれていますので別途お買い求めの必要はありません。

- (1)①のバッテリを取外す。
- (2)②の ECU ボックスの蓋を取外す。

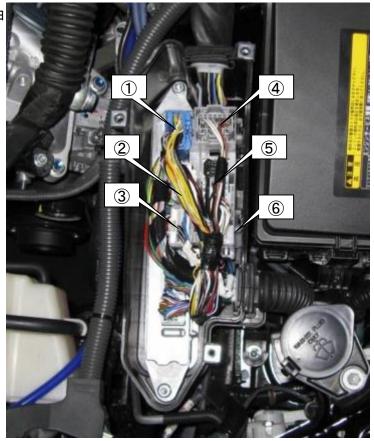


- (3) ECU ボックス内の①②③のコネクタを、⑥の白 い樹脂ケースから取外す。
- ・①(②③)取外し方法詳細 下図枠部に精密ドライバ(一)等を差し込み、 矢印の方向にコネクタのロックを外しながら コネクタを引き上げる。

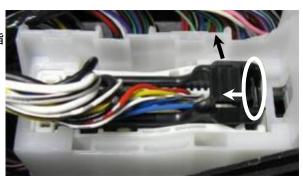


・④取外し方法詳細 下図枠内のロックを矢印方向に押して解除し、 コネクタを引き上げる。





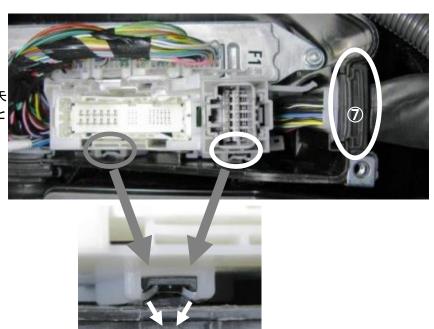
・⑤取外し方法詳細 右図枠内のロックを矢印方向に押して解除し、黒い樹脂 を上方に引上げる。 コネクタを引上げる。



- (4) (3) ⑥の白い樹脂ケースを ECU ボックスから取外す。
- ・⑥取外し方法詳細 右図枠内 2 箇所のロックを拡大図の矢 印の方向に外して、⑦のゴムシールと 共に引上げて取り外す。

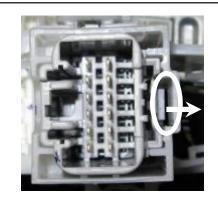
アドバイス

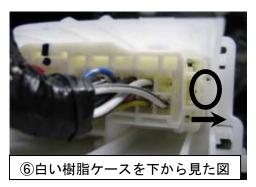
ロック部の樹脂をドライヤ等で温めておくと、外す際に割れにくくなります。



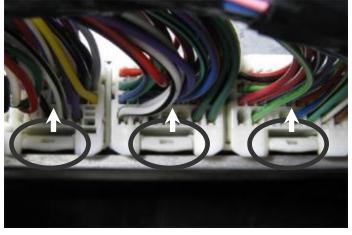
- (5) (4) で外した⑥の白い樹脂ケースから(3) で外した④⑤ の相手方コネクタを取外す。
- ・④相手方コネクタ取外し方法詳細 右図枠内のロックを矢印の方向に外して、④の相手方コ ネクタを下方に押し下げ取外す。
- ・⑤相手方コネクタ取外し方法詳細 下図枠内のロック(2箇所)を矢印の方向に外して、⑤の相 手方コネクタを下方に押し下げ取外す。







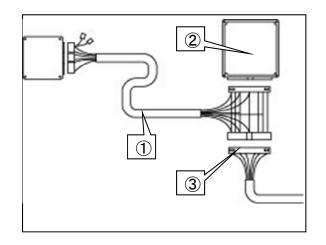
(6) 右図枠内のロックを矢印の方向に外して、ECU のコネクタを 6 個取外す。



(7) ①の F-CON+VAC ハーネスを②の ECU と③の車両側ハーネス間に接続する。

アドバイス

・コネクタのロックが"カチッ"となるまで挿入し、 6 個のコネクタを確実に接続する。



(8) (3) で取外した④⑤コネクタを相手方コネクタに接続する。

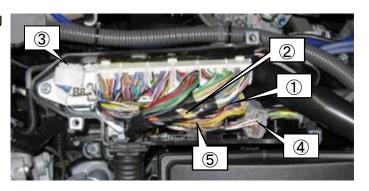


(9) (3) の①~⑤コネクタを右図のように配置し、ECU ボックスの蓋を取付ける準備をする。

必要に応じて配線をタイラップで固定し、ECUボックスの蓋を取付ける際に配線を挟まないようにする。

下図のコネクタは使用しないため、絶縁して ECU ボックス内に固定する。





(10) ECU ボックスの蓋を F-CON+VAC ハーネスが通るように 加工する。



- (11) ECU ボックスの蓋を取付ける。
- (12) バッテリ横の右図のグロメット部から F-CON+VAC ハー ネスを車室内に引き込む。
- (13)⑤のコネクタはエンジンルームに残してください。

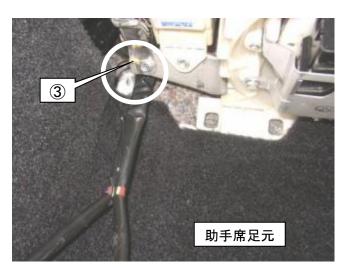


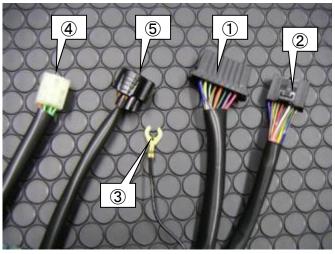
注意

・ハーネスに損傷が無いようにしてください。 感電及び車両の破損、焼損の恐れがあります

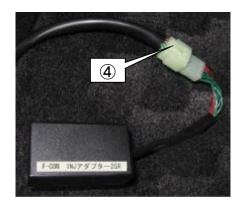


(14) ①②のコネクタに VAC T-606 を接続する。 ③のクワガタ端子を助手席足元のブラケットの ボルト部に接続する。



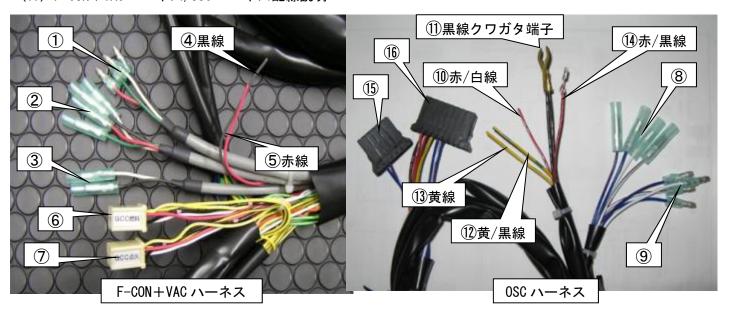


(15) (14) ④のコネクタに F-CON INJ アダプタ 2GR を接続する。



(16) (14) ⑤のコネクタを 9. 圧力センサ取付けとリリーフバルブ作動圧配管の取付けで取付けた圧力 セ ンサに接続する。

(17) F-CON+VAC ハーネス/OSC ハーネス配線説明

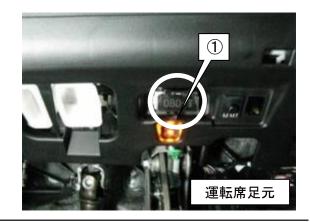


NO.	名称	接続先	備考
1	A/F センサ車両側	0SC ハーネス オスギボシ	①オスギボシ 80SC ハーネス メスギボシ 白線 → 青線 黒線 → 白線 赤線 → 青/赤線 緑線 → 白/黒線
2	A/F センサ ECU 側	OSC ハーネス メスギボシ	②メスギボシ 90SC ハーネス オスギボシ 白線 → 青線 黒線 → 白線 赤線 → 青/赤線 緑線 → 白/黒線
3	ノックセンサ信号	使用しません	
4	汎用アース線	メーター等のアース配線	※1 使用しない場合には絶縁する
⑤	汎用 IG 電源線	メーター等の IG 電源配線	※1 使用しない場合には絶縁する
6	GCC 燃料入力コネクタ	使用しません	
7	※2 GCC 点火入力コネクタ	OSC ハーネス	GCC 赤線 → ⑩OSC ハーネス赤/白線 GCC 黒線 → ⑪OSC ハーネス黒線クワガタ端子 GCC 黄/白線 → 配線する必要はありません GCC 白線 → 配線する必要はありません GCC 黄/黒線 → ⑫OSC ハーネス黄/黒線

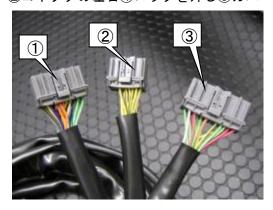
- ※1. 使用しない場合には必ず絶縁する。
- ※2. ⑩~⑬を配線する際に、添付の GCC コネクタ・端子セットを使用してください。
 - ③黄線は使用しませんので絶縁してください。

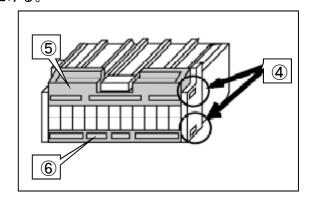
注意

・絶縁が不十分な場合、 F-CON+VAC ハーネスのヒューズばかりでなく、 車両側ヒューズ等を破損させてしまう可能性があります。 (18) 車両の故障診断端子①に F-CON iS 通信ケーブルの コネクタを接続し、センターコンソール裏側を通し てケーブルを助手席側まで取り回す。



- (19) (17) の(15)(f) コネクタに OSC を接続する。
- (20) ③コネクタの左右④ロックを外し⑥カバーを上げる。 ②コネクタの左右④ロックを外し⑤カバーを上げる。



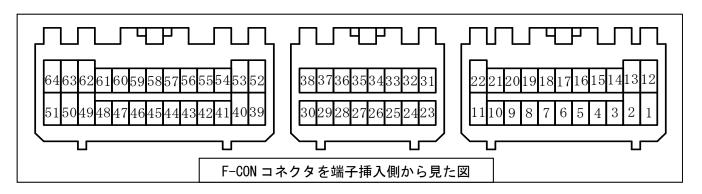


(17) の(4)OSC ハーネス赤/黒線端子を下表のように F-CON コネクタに挿入する。

OSC ハーネス	F-CON コネクタ
⑭赤/黒線	43 番端子

(18)で取り回した F-CON iS 通信ケーブルの端子を下表のように F-CON コネクタに挿入する。

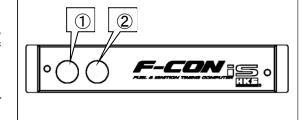
F-CON iS 通信ケーブル	F-CON コネクタ
黄線	37 番端子
緑線	38 番端子
白線	絶縁する
茶線	絶縁する



- ⑥カバーをストッパーに引っかかるまで押し込む。
- ⑤カバーをストッパーに引っかかるまで押し込む。

⚠ 注意

- ・絶縁が不十分な場合、F-CON iS ばかりでなく、車両側ヒューズ等を破損させてしまう可能性があります。また、接続箇所を誤ると F-CON iS ばかりでなく、車両側ヒューズ等を破損させてしまう可能性があります。必ずバッテリをはずした状態で、配線を確認してから接続してください。
- (21) 車載テレビやモニターにデータを表示させる場合には、 ①の端子に映像出力用ケーブル (別途お買い求めください)、②の端子に付属の画面切り替えスイッチを接続する。 ※本製品で使用している F-CON iS では表示項目の変更はできません。



- ・表示項目はあらかじめ設定した次表の項目です。
- ・3ページ目は表示ができない項目を設定していますので使用しないでください。

1ページ				2ページ	
		O(r/min)		バーグラフ最小値	-20(°C)
	バーグラフ最大値	7000[r/min]		バーグラフ最大値	130(°C)
エンジン回転数	黄バー設定値	4500[r/min]	吸気温	黄バー設定値	70[°C]
	赤バー設定値	6500[r/min]		赤バー設定値	80[°C]
	赤バー位置設定	最大値側		赤バー位置設定	最大値側
	バーグラフ最小値	0(mV)		バーグラフ最小値	
	バーグラフ最大値	5000[mV]		バーグラフ最大値	
エアフロ	黄バー設定値	3000[mV]	電源電圧	黄バー設定値	12.5[V]
	赤バー設定値	4000(mV)		赤バー設定値	11.5(V)
	赤バー位置設定	最大値側		赤バー位置設定	最小値側
		0.00[× 100kPa]		バーグラフ最小値	8.0
	バーグラフ最大値	2.00[× 100kPa]	A /F	バーグラフ最大値	20.0
圧力	黄バー設定値	1.10[× 100kPa]	A/F	黄バー設定値	12.0 16.0
	赤バー設定値	1.55〔× 100kPa〕		赤バー設定値	
	赤バー位置設定	最大値側		赤バー位置設定	最大値側
		0[%]		バーグラフ最小値 バーグラフ最大値	100
スロットル開度	バーグラフ最大値 黄バー設定値	100[%] 70[%]		ハークフフ取入他 黄バー設定値	100
人口グドル州茂	異ハー設定値 赤バー設定値	90[%]	7770110	展八一段定順 赤バ一設定値	90
	赤バー位置設定	最大値側		赤バー位置設定	最大値側
	バーグラフ最小値	-20[°C]		バーグラフ最小値	取入追阅 0[km/h]
	バーグラフ最大値	130(°C)		バーグラフ最大値	
水温	<u> </u>	95(°C)	車速	<u> </u>	150[km/h]
1,1,1,1	赤バー設定値	100[°C]	~	赤バー設定値	180[km/h]
	赤バー位置設定	最大値側		赤バー位置設定	最大値側
	バーグラフ最小値	0[km/h]		バーグラフ最小値	0[%]
	バーグラフ最大値	300[km/h]	スロットル開度	バーグラフ最大値	100[%]
車速	黄バー設定値	150(km/h)		黄バー設定値	70[%]
	赤バー設定値	180(km/h)		赤バー設定値	90[%]
	赤バー位置設定	最大値側		赤バー位置設定	最大値側

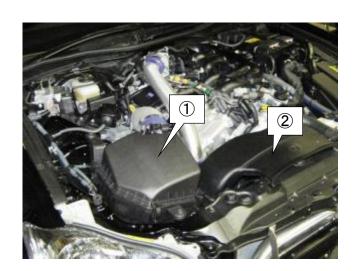
(22) 専用 F-CON iS を助手席シート下フロア等に両面テープや付属のステー等を使用して固定する。

- (23) タイラップで余分なハーネスを束ねる。
- (24) (12) でハーネスを車室内に引き込んだグロメットから水が入らないように、ビニールテープ等を巻きつけ、防水処理をする。
- (25) バッテリを元のように取付ける。 バッテリカバー左側のコネクタを接続する。

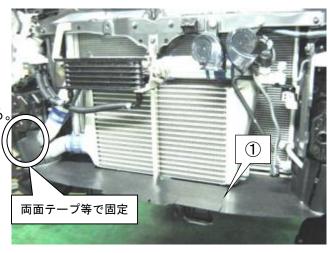


|11. ノーマルパーツの取付け

(1)①のエアクリーナ、②のエアダクトを取付ける。



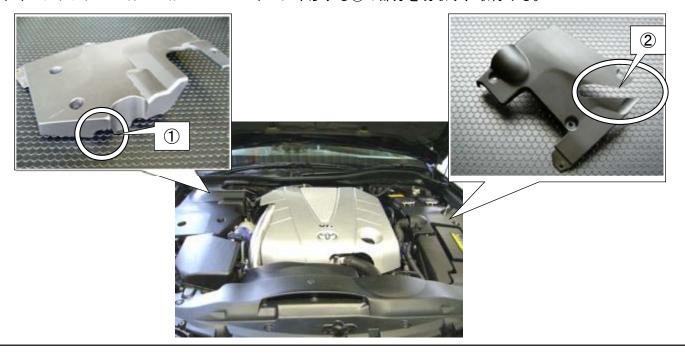
- (2) ①のラジエータグリルエアガイドをインター クーラーパイピングと干渉しないように加工し、 取付ける。
- (3) ブレーキエアガイドを取付ける。
- (4) フロントバンパリーンホースメントを取付ける。
- (5) フロントバンパ エネルギーアブソーバーを取付ける。
- (6) 吸気温センサのカプラを取付ける。



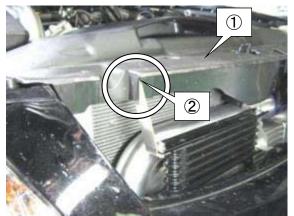
(8) エンジンカバーがパイピングと干渉する①の部分を 切取り、エンジンに取付ける。



- (9) エンジンルームカバーがサクションパイプに干渉する①の部分を切取り、取付ける。
- (10) エンジンルームカバーが F-CON ハーネスに干渉する②の部分を切取り、取付ける。



(11) ①のクールエアインテーク ダクトシールがオイル クーラーのブラケットに干渉する②の部分を切取り、 取付ける。



(12) エンジンアンダカバーを取付ける。

アドバイス

- <u>・エンジン</u>アンダカバーは必ず取付ける。
- (13)バッテリのマイナス端子を取付ける。

(14)以下の項目の設定を行なう。

Oパワーウインドウ

- 1. 窓を全開にする。
- 2. 窓を全閉にし、その状態を 1 秒間維持する。

〇サンルーフ (装着車両の場合)

- 1. サンルーフを全閉にする。
- 2. チルトアップスイッチを押し続け、チルトアップ→1 秒停止→チルトダウン→スライドオープン →スライドクローズの順に操作する。

〇バックガイドモニター

エンジン始動後、バックガイドモニターのヘルプを参照し設定する。ヘルプがない場合や設定できない場合は、下記のいずれかの方法で設定する。

方法1

- 1. ステアリングホイールを右いっぱいに切る。
- 2. ステアリングホイールを左いっぱいに切る。

方法 2

できるだけカーブや渋滞の少ない進路を 20km/h 以上で 5 分間以上走行する。

設定が完了すると予想進路が表示される。

〇イモビライザー

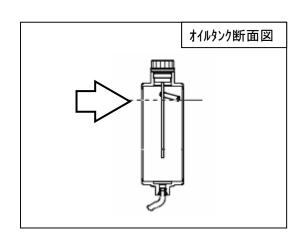
運転席ドアを開閉し、その状態を10秒以上経過するまで維持する。

12. トラクションオイルの注入

パーツリ	リスト		
-	No.	品名	数量
P5	P5	トラクションオイル	1

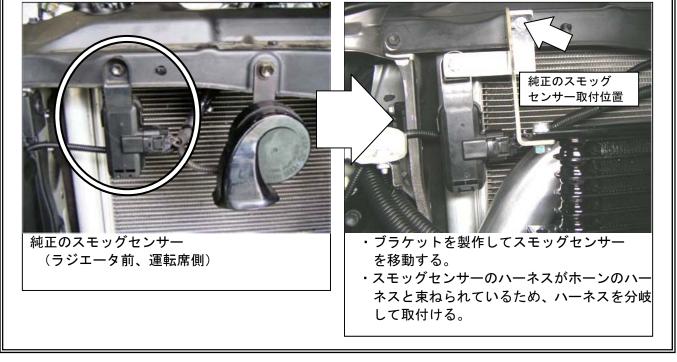
アドバイス

- ・スーパーチャージャーAssy の内部構成部品は精密部品です。オイルに異物が混入するとスーパーチャージャーAssy が破損します。オイル配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないように作業を行なってください。
- (1)トラクションオイルタンク内に異物が無い事を確認し、 トラクションオイルを約 600cc (図中矢印のオイルタンク 内のリターンパイプが突き出している位置まで)注入し、 キャップを閉める。



《参考》

・リアエアコン装着車両の場合、スモッグセンサーの移動が必要です。



13. 取付け後の確認とトラクションオイル量の調整

本製品を取付けた後、必ず下記の作業を行なう。

(1)エンジン始動前に下記の事項を確認する。

	確認項目	確認
1	トラクションオイル配管が正しく行われているか。	
2	ハーネス及び取付けた部品が各部に干渉していないか。	
3	F-CON+VAC ハーネスの使用していないオプション機器接続コネクタは開放されているか。	
4	F-CON+VAC ハーネスのアースが確実に取付けられているか。	
5	各ハーネスを強くはさんでいないか。	
6	プーリーの取付けボルトおよび固定ボルトが確実に締めてあるか。	
7	ベルトがプーリーの溝にしっかり合っているか。	
8	トラクションオイルがオイルタンク内リターンパイプの突き出し位置まであるか。	
9	パイプ・ホース類の配管が間違っていないか。	
10	ホースにねじれや過度の曲げがないか。	
11	ホースバンドが確実に締まっているか。	
12	ボルト・ナット類が確実にしまっているか。	
13	取付けた部品がしっかりと固定されているか。	
14	バッテリのマイナス端子にケーブルターミナルが確実に取付けられているか。	
15	エンジンオイルがレベルゲージのH~Lの間にあるか。	

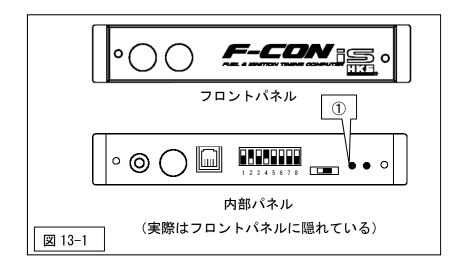
※専用 F-CON iS は設定およびデータ入力済み。

- (2) トラクションオイルをビーカー等に約 80cc 準備しておき、トラクションオイルのキャップを外してエンジンを始動する。
- (3) エンジン始動直後、下記の作業を実施する。
 - 1. オイルタンクのオイルレベルが下がり始め、オイルタンクにトラクションオイルが戻ってくる事を 確認する。
 - 2. オイルタンク内のオイルが無くならないよう、無くなる前にビーカー等に準備したトラクションオイルを継ぎ足す。その際、タンクからあふれないようにする。
 - ※ バッテリ端子接続後、1回目の始動時はエンストしますが、異常ではありません。
 - ※ エンジン始動直後、暖気中に GT2 スーパーチャージャーから"ジャラジャラ"といった作動音が聞こえる。これはトラクションオイルが暖まる約2~3分後に聞こえなくなるものであり、異常ではない。
- (4) エンジン暖気後に下記の事項を確認する。

アドバイス

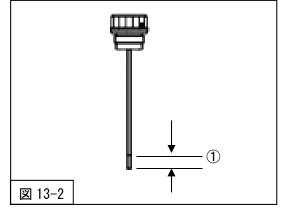
・暖気中はエンジンの回転を上げないようにする。(アイドリング運転)

	確認項目	確認
1	オイルタンクにトラクションオイルが戻っているか。	
2	専用 F-CON iSの パワーLED(グリーン)は点灯しているか。(図 13-1①)	
3	各部から、トラクションオイル、冷却水、エアが漏れていないか。	
4	ハーネス、ホース類が引っ張られていないか。	
5	部品による干渉音が無いか。	



(5) 上記項目に異常が無いことを確認した後、エンジン回転数を 1 O 秒間 2000rpm に維持し、速やかにエンジンを停止して、トラクションオイルがレベルゲージのマーキングレベル(図中①)まであるか確認し、過不足を

調整する。



※残ったトラクションオイルは、トラクションオイルが入っていた容器でキャップをして保存してください。

トラクションオイルは特殊な成分により構成されているため、他の容器で保存した場合、成分 の変化や容器を侵す場合があります。

(6)トラクションオイルタンクのキャップを閉める。

以上で取付け作業は終了です。

※走行後、エンジンルームが高温になっている状態でエンジンを停止した場合、 ベルトから"キュッ"と音が出る場合があります。これは純正のオートテンショナーがベルト の張りを調整しているため発生しているものであり、異常ではありません。

14. 1ヶ月点検の実施

- 〇本製品を取付けてから1ヶ月後(40日以内)に添付の1ヶ月点検記録用紙に従い、下記の点検を実施してください。
- 〇本点検により不具合が無いことを確認し、添付の保証登録書に必要事項を記入し、登録を行なってください。

記入方法	異常なし	レ	交換	×	調整	Α	締付け	Т
------	------	---	----	---	----	---	-----	---

		点検項目	
	スーパーチャ	ージャー本体の確認	
	Ī	_	
		警告	
		・作動音確認の際はベルトに手や指、衣服等が巻きこ まれないようにしてください。	
		・ベルトに巻き込まれた場合重症を負う可能性があり	
1		ます。	
	取付け時と比	・較して GT2 スーパーチャージャー駆動機構の	
	作動音が大	きくなっていたり、異音が発生していないか	
	取付け時と比	較してエアクリーナからの	
	吸気音が大	きくなっていたり、異音が発生していないか	
	トラクション	オイルが異常に減少していないか	
	(オイルレベ	ルゲージにオイル液面が触れない程度まで)	
	トラクション	オイル配管の点検	
	トラクション 確認箇所	オイル配管からの漏れ、ホースクランプの緩みがないか	Ш
	・スーパー	チャージャーとの接続部	
	・オイルク	ーラーとの接続部	
2	・オイルタ	ンクとの接続部	
	・オイルフ	ィルターとの接続部	
	トラクション	オイルホースに他部品との接触による損傷がないか	
	トラクション	オイルホースにひび、割れなどが生じていないか	
		オイルがレベルゲージのマーキングレベルまであるか	Ш
3	<u>ベルトの点検</u> ベルトがオー	<u>!</u> ·トテンショナーの調整範囲内になっているか	П
		、割れ、欠けなどの損傷がないか	
	ボルトの締付	The state of the s	
1	GT2 スーパー	チャージャーの取付けボルトが締まっているか	
4	プーリー①、	②の取付けボルトが確実に締まっているか(P17 2.(10))	
	プーリー①が	FE/G フロントカバーのボスに干渉していないか (P17 2. (11))	

	<u>その他</u>	
	ハーネス類が各部に干渉していないか	
	確認箇所	
	・圧力センサハーネス	ᆜᅵ
	・F-CONハーネス	
5	取付けた部品が各部に干渉していないか 確認箇所	ᅵ
	│ 唯恥自乃 │ ・サクションパイプと車体	
	・パイプNo. 8 とインジェクタドライバ	
	・パイプNo.8と油圧ソレノイドのカプラ	
	ホースバンドが確実に締まっているか	
	エンジンオイルがレベルゲージのH~Lの間にあるか	

15. 維持・管理

- 〇トラクションオイルは HKS GT2 スーパーチャージャー専用品です。弊社指定のトラクションオイル以外は絶対に使用しないでください。弊社指定以外のトラクションオイルや、エンジンオイル、ミッションオイル等を使用した場合、HKS GT2 スーパーチャージャーの内部部品が破損します。
- 〇トラクションオイルは交換不要ですが、運行前には、油量の確認を行ない、減少している場合にはトラクションオイルを補充してください。
 - ・補充用のトラクションオイルは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
トラクションオイル(1L)	G08834-K00020-00

- OHKS GT2 スーパーチャージャー取付後、5 年経過または走行距離が 70,000km を超えた場合はトラクションオーイルのフィルターを交換してください。
 - ・トラクションオイルのフィルターは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
トラクションオイルフィルタ	G15611-K00010-00

- 〇リブベルトは消耗部品です。運行前点検時にひび、割れ、欠けなどの損傷がないか確認してください。 損傷がある場合には交換してください。弊社指定のベルト以外は使用しないでください。弊社指定以外のベルトを使用した場合、始動時やアイドリング時にベルトの鳴きが発生します。
 - ・交換用のベルトは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
ベルト	G09961-K00040-00

16. 故障と判断する前に

○本製品が正常に作動しない場合には、故障と判断する前に、下記の症状と照らし合わせて、配線・ベルト等の確認をしてください。

症状	原因	確認事項・対策
・イグニッションキーを ON にしても 専用 F-CON iS のパワーLED が点灯しない ・エンジンが始動しない ・エンジン不調	コネクタ接触不良	・各コネクタを隙間のないように確実に接続する
・エンジン始動時にベルトが鳴く・エンジン出力が低下したように感じる・全開加速時、エンジン回転が上昇しても、ある回転数から過給圧が低下する	ベルト張力低下	・オートテンショナーの調整代を使い切っていないか確認。使い切っている場合は 新品に交換
・エンジン出力が低下したように感じる ・全開加速時、エンジン回転が上昇して も、ある回転数から過給圧が低下する	エアクリーナの 寿命	 ・汚れが目立つ場合には交換時期に達していなくても交換 ・HKS ハイブリッドフィルターを使用されている場合、走行距離が 10,000km を超えている場合は交換(使用状況により 10,000km 以下でも交換)
・オートマチックトランスミッションの 変速不調	コネクタ接触不良 アース不良	・各コネクタを隙間のないように確実に接続する・F-CON+VAC ハーネスの黒線クワ型端子アースを確実に接続する

|17. ベルトが切れてしまった場合

- ・車両を安全な場所へ移動し、切れたベルトによる他部品の損傷(オイル、冷却水配管、ハーネス等の破損) がないか確認してください。
- ・ベルトでウォーターポンプを駆動しているため、ベルトが切れた場合は走行しないでください。
- ・安全な場所へ移動して原因を確認し、問題がなければ新品のベルトに交換してください。問題が発見された 場合には適切な修理を行なってください。